

世界に開かれた京大の「WINDOW」 ケルンにおける京都デーで 日本と欧州との架け橋に

京都デーに参加した京都大学の学生とスタッフ、ハイデルベルク大学京都オフィススタッフ
左上から、飯田さん(京大スタッフ)、浦島さん(京大生)、渡辺さん(京大生)、サビネさん(ハイデルベルク大学京都オフィススタッフ)、小澤さん(京大スタッフ)
左下から、園部さん(京大スタッフ)、宮崎さん(京大生)、岡田さん(京大生)、木村さん(京大生)



京都大学の学生とスタッフが語る「京大らしさ」とは

京都市と姉妹都市提携を結ぶケルン市の、ケルン日本文化会館で1月28日「第3回ケルンにおける京都デー (Köln Kyoto Tag)」*が開催されました。

日本の産官学の機関が一緒になって日本文化や慣習、ビジネスなどについてブースや講演を通して紹介し、来場者を楽しませていました。特に講演は、立ち見が出るほどの盛況ぶりでした。

今回、取り上げる京都大学では、大学の国際化とグローバル人材の育成を推進するため、ドイツのハイデルベルクに「欧州拠点ハイデルベルクオフィス」を設置しています。この日は同オフィスのスタッフ、ドイツに留学中の京都大学の学生、ハイデルベルク大学京都オフィスのスタッフが協力し、主に大学及び学生生活の紹介、留学情報の提供を行いました。講演では学生によるドイツ語のスピーチに対して、聴衆の温かい反応が印象的でした。在デュッセルドルフ日本国領事館の水内龍太総領事(京都大学卒)も、京都大学留学生の発表に関心を持って聴講していました。この日の講演で発表した留学生に、ドイツでの留学生活や講演について聞いてみました。

浦島敦さん「ドイツの講義では先生が学生を引き込むのが上手で、他の学生たちと議論したり、発言しやすい環境があるので集中できる。ドイツは生活費も安く、奨

学金制度も豊富と感じる」

岡田勇督さん「ドイツの哲学専門雑誌にも自分の論文を載せたいという夢がある。当たり前のように就職活動に向かうのではなく、海外に出たことで視野が広がった」
木村英莉子さん「学部生時代にチュービンゲンに交換留学していたので今回2回目。よく聞く『京大生は真面目でいつも早足』など、各大学の個性を捉える日本の文化について発表しました」

宮崎利啓さん「『カウチサーフィン』を利用して京都の部屋に世界中の旅人を迎え、彼らから大きな影響を受けた。建築事務所で仕事も見付かり、将来はワーキングホリデーも考えている」

渡辺脩太さん「ドイツの学生は集中して勉強し、しっかり遊ぶなど切り替えが早い。休みの時間や勉強をしない時間を大切にしている点を見習いたい」

京都大学が創立以来、基本理念に掲げている「自由の学風」を体現するかのように、学生たちは志を高く持って欧州の地で自学自習に励んでいます。

彼ら彼女らが地球社会の調和ある共存に寄与する国際人として活躍する未来への期待が膨らむ1日となりました。

*ケルン独日協会、在デュッセルドルフ日本国総領事館共催、ケルン日本文化会館、ケルン市、京都市、京都大学欧州拠点ハイデルベルクオフィス後援



ドイツ語で講演を行う京都大学の渡辺さん(京大生)



ブースを訪れた来場者へ説明する京都大学の学生とスタッフ

京都大学欧州拠点 ハイデルベルクオフィス

京都大学欧州拠点ハイデルベルクオフィスは2014年5月3日にハイデルベルク大学の学生の一員として、業務を開始しました。現在、2名の京都大学スタッフと1名のローカルスタッフが常駐しています。オフィスではドイツに限らず、欧州全域を対象にした研究者交流や共同研究の推進などによる研究の国際化、欧州から京都、京都から欧州への留学支援などによる教育の国際化を軸とした活動を行っています。

京都大学は「世界や社会に通じた窓を開け、風通しをよくし、野生的で賢い学生を育てる」ことを目標にWINDOW構想を掲げています。多様な文化や考え方を受け入れ、未知の世界に挑戦できる学生の育成がWINDOW構想では謳われており、多文化が共存する欧州はまさにその現場となります。ハイデルベルクオフィスは、これからも欧州に開かれた京都の窓として研究や教育の国際化に貢献していきたいと考えています。

欧州拠点ハイデルベルクオフィスの紹介

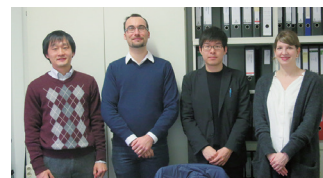
京都大学は1897年に創設された日本で二番目に古い国立大学で、ゆかりのある研究者が9つのノーベル賞を受賞している世界トップレベルの研究型大学です。先端研究を進める大学にとって「国際化」は大きな課題であり、その促進のためにハイデルベルクオフィスが開設されました。研究や教育の国際化支援を推進し、日独6大学による学術交流を促進するHeKKSaGOnネットワークの日本側窓口の役割も担っています。



京都大学欧州拠点ハイデルベルクオフィス外観

ハイデルベルク大学との連携

京都大学とハイデルベルク大学の連携は、1990年に締結された学術交流協定に遡ります。多岐にわたる教育・研究交流の歴史の上に、相互にオフィスを設置する友好的な関係が築かれました。両大学に籍を有する教員(クロスアポイントメント)の存在や、2018年度から開始される文学研究科のジョイントディグリープログラムなどはその連携の深さを示すもので、今後も学術交流の深化に向けて協働していきたい考えです。



左から、園部さん(京大スタッフ)、オリバーさん(ハイデルベルク大学スタッフ)、飯田さん(京大スタッフ)、サビネさん(ハイデルベルク大学京都オフィススタッフ)

ハイデルベルク大学京都オフィスの紹介

ハイデルベルク大学は1386年に創設されたドイツ最古の大学で、多くのノーベル賞受賞者を輩出している世界有数の大学です。2015年4月に開設された京都オフィスは、京都大学吉田南キャンパスの吉田国際交流会館の1階にあります。留学案内や研究支援に加え、日本における同大学の卒業生のネットワーキングや前述のHeKKSaGOnネットワークのリエゾンオフィスとしての役割も担っています。



ハイデルベルク大学京都オフィス外観
※京都大学吉田国際交流会館の一室



京都大学
KYOTO UNIVERSITY

京大関係者
へのご案内

京都大学はドイツに駐在及び在住の本学関係者(卒業生、元教員及び研究者)とのネットワークの機会を持ちたいと考えております。ご関心ございましたら、下記のメールアドレスまで、ご連絡いただけますと幸いです。

※個人情報をご本人の許可無く、第三者に提供することは決してありません。個人情報について、ご本人様から訂正、削除等のご請求に対して適切に対応いたします。

京都大学欧州拠点ハイデルベルクオフィス Kyoto University European Center Heidelberg Office

Augustinergasse 2 (Studentenkarzer) 69117 Heidelberg E-Mail: info_eu@oc.kyoto-u.ac.jp TEL: +49(0)6221 54 30034

HP: <http://www.oc.kyoto-u.ac.jp/overseas-centers/eu/> ポータルサイト・Facebookで「京都大学 欧州拠点」と検索いただくとアクセスできます。